

報道関係者各位

細菌性赤痢の発生について（第5報）

12月14日（土）、酒田市内の医療機関から細菌性赤痢1名の発生届がありましたのでお知らせします。

1 患者の概要及び発生経過等

患者	酒田市在住 高校生（女）
発症日	令和元年12月8日（日）
届出日	令和元年12月14日（土）
患者の経過	12月8日（日）：発熱、腹痛、水様性下痢 12月10日（火）：酒田市内医療機関を受診 12月14日（土）：同医療機関の検便検査の結果、細菌性赤痢と診断 入院はしておらず、現在快方に向かっている。

※ 患者は、12月4日に発生した細菌性赤痢の幼児らが通園している保育所の園児家族ではありません。

2 12月4日以降に発生した細菌性赤痢に係る患者（陽性者）数

（1）累計患者数：23名（保育所園児13名、家族9名、その他1名）

累計入院者数は4名で、4名とも退院しています。

性別	幼児	小学生	中学生	高校生	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	合計
男	5	1		1				1	8
女	8	1		2			2	2	15

※ 10歳代は小・中学生及び高校生を除く。

（2）累計家族数：17家族 ※1名でも1家族として計上

3 県（庄内保健所）の対応

患者や家族への健康観察の他、予防方法の指導を行うとともに、感染原因を調査しています。

一連の細菌性赤痢の調査に関する庄内保健所の検便検査の状況は次のとおりです。

（12月14日現在）

検便検体数	陽性	陰性	判定不能※
219検体	13検体	202検体	4検体

※ 判定不能4検体中2検体は医療機関で検査済み。他の2検体は再検査を予定。

○ 細菌性赤痢を予防するために次のことに心がけましょう

・ 手洗いの励行が基本です。調理や食事前、用便後は必ず石けんで手をよく洗いましょう。

○ 下痢、腹痛などの症状があるときは

- ・ 早めに医療機関を受診し、医師の指示に従いましょう。
- ・ 特に食品を取り扱われる方は、調理業務への従事を見合わせてください。
- ・ 症状のある方の入浴は最後にするか、シャワーの利用だけにしましょう。
- ・ 汚染部分や人の手が触れる部分（ドアノブ等）を消毒用アルコールなどで丁寧に消毒しましょう。

県内細菌性赤痢発生状況（患者数）

今回発生	1名
本年累計	24名

問合せ先 山形県健康福祉部健康福祉企画課
薬務・感染症対策室 室長補佐 庄司 栄一
TEL：023-630-2292
報道監 健康福祉部次長 泉 洋之